

### 3. まちづくり

#### (1) まちづくり全般

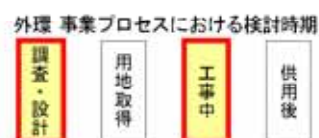
- ① 環境施設帯を利用して、生活道路や緑地などを確保することへの期待
- ② 外環の整備に伴い、周辺のまちづくりの計画がどのようになるのかとの懸念
- ③ 外環整備によって、住環境がよくなることへの期待

○これまでに頂いた意見

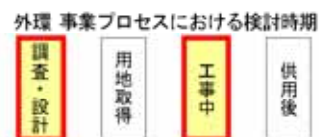
- 環境施設帯など地上部がどのようになるのか心配している。生活道路の整備や植樹をするなど、環境施設帯を有効活用してほしい。
- 地域に災害時の避難場所がないことが心配だ。環境施設帯を災害時に利用できるトイレや、水道、流しなどの防災用の設備のある避難場所として整備して欲しい。

(国)

➤ 外環の整備により、トンネル構造以外の区間には、沿道の生活環境を保全するため、環境施設帯を設置します。環境施設帯の整備にあたっては、緑地空間や生活道路など地域のみなさまの意見を聴きながら、地域の歴史・文化を象徴する施設や資源の保全及び活用を図れるよう、練馬区並びに関係機関と連携していきます。

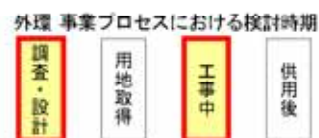


➤ 外環の整備に伴い生活道路に分断が生じる場合には、当該生活道路の機能を確保するため、環境施設帯を活用した機能を補償する道路を確保します。具体的な整備内容は、行き止まり道路の状況、周辺的生活道路の状況を把握したうえで、地域のみなさまの意見を聴きながら、練馬区とともに検討し、それまでの利便性の低下が生じないように機能確保に努めます。



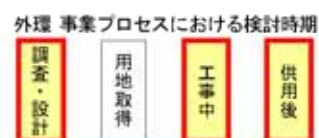
➤ ジャンクション周辺地域などにおいて、健全な市街地の整備を図り、公共の福祉の増進を図るためには、外環の整備に合わせてまちづくりを進めていくことが重要であると考えています。まちづくりを進めるにあたっては、地域のみなさまの意見を聴きながら、地域の歴史・文化を象徴する施設や資源の保全及び活用を図れるよう、練馬区並びに関係機関と連携していきます。

➤ 事業実施の各段階で地域のみなさまの意見を聴きながら、地域特性を勘案して、練馬区の地域防災計画やそのほかのまちづくりの計画に合わせて検討を実施します。



(国、都)

➤ ジャンクション周辺地域の良好なまちづくりの円滑かつ効率的な進捗を図るため、必要に応じて練馬区のまちづくりの支援や協力を努めていきます。



参考:外環(千葉区間)における環境施設帯の整備事例

外環の千葉区間において、環境施設帯を利用して緑化を行った事例です。



松戸市矢切地区モデル道路



松戸市矢切地区モデル道路

資料:首都国道事務所ホームページ

(2) 地域分断

- ① 地域コミュニティの分断への懸念
- ② 既存の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念
- ③ 三原台中学校、泉新小学校などの学区域や通学路が分断されるのではないかと  
の懸念
- ④ 土支田通りや東映通り、大泉街道を通るバスルートの廃止や変更など交通利便性  
の低下への懸念

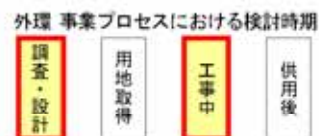
○これまでに頂いた意見

- 自治会・町会が分断されたり、泉新小学校、大泉東小学校、三原台中学校の通学路が分断されたりしないように、環境施設帯に生活道路を整備するなどしてほしい。
- 東大泉2丁目と三原台3丁目の地域分断が心配である。事業用地を利用して、連絡できる道路の整備を望む。
- 地域に必要な生活道路を住民の意見を聞いて整備してほしい。ジャンクション南側部分で東西に分断される生活道路がきちんと整備されないのではないかと心配。

(国)

➤ 大泉ジャンクションの事業実施に伴い、現況のコミュニティに影響が生じる箇所については、環境施設帯などを活用した分断道路の機能を補完する道路を確保します。

➤ 分断道路の機能を補完する道路の整備にあたっては、行き止まり道路の状況、周辺的生活道路の状況を把握したうえで、地域のみなさまの意見を聴きながら、練馬区とともに検討し、それまでの利便性の低下を生じないように機能確保に努めます。



➤ また、三原台中学校、泉新小学校などの周辺の通学路及び土支田通りや東映通り、大泉街道などを通るバス路線の確保について、現状を十分把握し、練馬区と一緒に地域のみなさまの意見を聴くとともに、バス事業者など関係機関と協議しながら、機能の確保を検討していきます。

